施策４－（17）ライフステージに応じた運動、スポーツ活動の充実

○幼児期からの運動習慣づくり　○障がい者スポーツの推進

［主な取組］

- 生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための健康や体力の基礎を培うとともに、人格形成につながるスポーツ活動や運動部活動の充実を図ります。
- あいサポート条例（愛称）の趣旨に基づき、障がい者が生涯にわたり自主的かつ積極的にスポーツを行うことができるよう、年少期から高齢期を通じ、障がいの特性及び程度に応じたスポーツを行う機会の確保、必要な環境の整備を行っていきます。

施策４－（18）トップアスリートの育成（競技力向上）

○ジュニア期からトップレベルに至る体系的な指導体制等の充実

［主な取組］

- 発達段階ごとの到達目標を踏まえて指導内容を検討し、世界や全国で活躍する選手育成のために、ジュニア期からトップレベルに至る体系的な指導体制や指導プログラムの充実を図るとともに、優秀なジュニア競技者の発掘に努めます。
- オリンピック・パラリンピックや次期鳥取国体に向けた競技力向上施策の推進、環境整備やスポーツ気運醸成のための合宿誘致などに取り組みます。

目標５　文化、伝統、豊かな自然の継承、再発見、芸術の創造

施策５－（19）文化芸術活動の一層の振興

○子どもたちや若者が文化芸術に触れ、感性を高める機会の提供　○障がい者による文化芸術活動の推進

［主な取組］

- 鳥取県ジュニア美術展覧会や鳥取県総合芸術文化祭、公益財団法人鳥取県文化振興財団事業のほか、廃校等を使った文化芸術の発表等による鑑賞人口の拡大など、県民が文化芸術を発表する場や鑑賞する機会を拡充します。
- 平成 30 年 10 月に策定した鳥取県障がい者による文化芸術活動推進計画に基づき、障がいのある人が文化芸術を鑑賞し、これに参加し、又はこれを創造する活動を促進するとともに、障がいの有無にかかわらず文化芸術を通じて共に交流する機会を創出します。

施策５－（20）未来を「つくる」県民立美術館整備による文化芸術の創造・発展

○地域に根差した「私たちの県民立美術館」の整備を契機とした美術を通した学びの支援

［主な取組］

- 鳥取県立美術館整備基本計画に基づき、コンセプトに掲げた「未来を『つくる』美術館」の実現に向けた取組を、県民とのコミュニケーションを図りながら着実に進めます。
- 子どもたちが美術に触れ、美術を通じて学びを深めるための「美術ラーニングセンター（仮称）」機能の具体化に向け、対話型鑑賞教育に有効なデジタルコンテンツの試行・効果検証、小学校新規採用教員に対する研修の実施などの体制づくりを進めます。

施策５－（21）文化芸術の発展を担う人材の育成

○質の高い文化芸術に触れる機会や体験をとおし、優れた才能や個性を引き出し、鳥取県の文化芸術の発展を担う人材の育成

［主な取組］

- 文化芸術活動の実践者との連携や学校での芸術公演などにより、全ての子どもたちに優れた文化芸術の鑑賞、体験の機会を設定することに努め、豊かな人間性を育むとともに、文化芸術における優れた才能や個性を伸ばしていく取組を進めます。

施策５－（22）文化財の保存、活用、伝承

○祭り、行事などを地域で伝承していく活動の支援
○ふるさとの自然、歴史に触れ学ぶ機会の充実　○弥生二大遺跡の活用の推進

［主な取組］

- 妻木晩田遺跡や青谷上寺地遺跡をはじめとする県内の史跡、名勝等を県民が訪ね、楽しめる環境を整備し、活用を促進します。

鳥取県教育振興基本計画　～未来を拓く教育プラン～

基本理念　自立して心豊かに生きる　未来を創造する　鳥取県の人づくり

基本理念を支える４つの「力と姿勢」

自立して生きる力
- 生きていくために必要な知識、技能、教養を備え、学び続ける姿勢
- 主体的に考えて判断し、他者と協働しながら課題を解決していく力
- 志を高く持ち、自らの夢を描きながら粘り強く挑戦し、実行していく力

豊かな心と健やかな体
- 心とからだの健康づくりや体力の向上に取り組む姿勢
- 思いやり、たくましさ、感動する心など豊かな人間性を発揮できる力
- 文化芸術、スポーツ、読書やボランティアなどの活動に積極的に取り組む姿勢

社会の中で支え合う力
- 人々との関わりを大切にし、コミュニケーションを豊かにとることのできる力
- 自他ともに尊重し、人権や命、多様性を大切にして共に生きる姿勢
- 社会の一員としての自覚と規範意識を持ち自らを律する力

ふるさと鳥取県に誇りを持ち、未来を創造する力
- ふるさとの自然、歴史と伝統を守り、受け継ごうとする姿勢
- 地域やふるさとに誇りと愛着を持ち、その発展に貢献しようとする姿勢
- グローバルな視点を持ち、社会の変化に対応しながら新たな価値を創造していく力

自他の価値を尊重することができ、夢や目標、学びに向かう意欲を持って生きる「自己肯定感」を育む

「私たちの未来　とっとりの未来を希望を持って生きる」

5つの目標と持ち合わせたい22の施策と重点取組

鳥取県の豊かで特色ある地域資源（人、自然、文化、歴史、産業）を基盤として社会の変革期に対応する施策を推進

1　社会全体で学び続ける環境づくり

(1)社会全体で取り組む教育の推進
○学校、家庭、地域の連携・協働の推進
○コミュニティ・スクールの導入促進、運営の充実
○学校、地域の連携による、ふるさとへの愛着や誇りを高める教育の充実

(2)家庭教育の充実
○保護者向けのつながりづくりの推進
○保護者への学習機会の提供、届ける家庭教育支援の推進

(3)生涯学習の環境整備と活動支援
○全ての人が生涯学び、活躍できる機会の充実
○図書館、博物館等の社会教育施設の機能の充実
○人権尊重の心を育む教育の充実

2　学ぶ意欲を高める学校教育の推進

(4)豊かな人間性、社会性を育む教育の推進
○子どもの規律、道徳心、自他を尊重する力の育成
○芸術活動の推進

(5)ふるさと鳥取から学ぶ教育の充実
○ふるさと鳥取に根差して、グローバルな視点で考え行動することができる人材の育成
○地域を題材とした体験活動、探究的な学習の充実による社会を力強く生き抜く力の育成

(6)幼児教育の充実
○鳥取県幼児教育センター、市町村、園の連携・協力による発達や学びの連続性を踏まえた幼児教育・保育の推進

(7)確かな学力・学びに向かう力の育成
○思考力を高め、習得した知識等を活用し、主体的に課題の解決に生かしていく力の育成
○自ら学び意欲を高め、自らの進路で課題を選択する力を養うキャリア教育の充実

(8)特別支援教育の充実
○障がいの状態や発達段階に応じた教育の充実と専門性の向上
○インクルーシブ教育システムの推進に向けた環境的調整措置及び合理的配慮の充実

(9)社会の変革期に対応できる教育の推進
○英語教育の充実によるグローバルマインドの育成
○人工知能（AI）等の技術革新を見据えた ICT 活用教育の推進
○手話教育によるコミュニケーション力の育成
○成年年齢引下げによる消費者教育の推進

3　学校を支える教育環境の充実

(10)魅力ある学校づくり、特色ある学校運営の推進
○県立高校のモデル校の設本的な検討
○県立高校の魅力化・特色化
○地域ごとに応じた多様な学校づくり・魅力発信

(11)次代の学校教育を担う優秀な人材の確保・育成
○大東認職明における、魅力ある教員の確保・育成
○学校における働き方改革の推進
○学校を支える専門スタッフの充実

(12)安全、安心で質の高い教育環境の整備
○学校の施設整備の充実
○鳥取県中部地震を踏まえた学校の防災力強化等、安全・安心な教育環境づくりの推進

(13)いじめ、不登校等に対する対応強化
○いじめ、不登校等の未然防止、早期発見・早期支援

(14)多様なニーズに応える学びのセーフティネットの構築
○義務・格差等の社会課題への対応、不登校生徒等に対する多様な学びの場の確保

(15)私立学校への支援の充実
○私立学校の多様な取組への支援

4　生涯にわたる健やかな体づくりと運動、スポーツの推進

(16)健やかなからだづくりの推進
○子どもの体力・運動能力の向上、健康教育及び食育の推進

(17)ライフステージに応じた運動、スポーツ活動の充実
○幼児期からの運動習慣づくり
○障がい者スポーツの推進

(18)トップアスリートの育成（競技力向上）
○ジュニア期からトップレベルに至る体系的な指導体制等の充実

5　文化、伝統、豊かな自然の継承、再発見、芸術の創造

(19)文化芸術活動の一層の振興
○子どもたちや若者が文化芸術に触れ、感性を高める機会の提供
○障がい者による文化芸術活動の推進

(20)未来を「つくる」県民立美術館整備による文化芸術の創造・発展
○地域に根差した「私たちの県民立美術館」の整備を契機とした学びの支援

(21)文化芸術の発展を担う人材の育成
○質の高い文化芸術に触れる機会やを体験をとおし、優れた才能や個性を引き出し、鳥取県の文化芸術の発展を担う人材の育成

(22)文化財の保存、活用、伝承
○祭り、行事などを地域で伝承していく活動の支援
○ふるさとの自然、歴史に触れ学び機会の充実
○弥生一大遺跡の活用の推進

ふるさと鳥取県に誇りを持ち、未来を創造する力
○ふるさとの自然、歴史と伝統を守り、受け継ごうとする姿勢
○地域やふるさとに誇りと愛着を持ち、その発展に貢献しようとする姿勢
○グローバルな視点を持ち、社会の変化に対応しながら新たな価値を創造していく力

社会の中で支え合う力
○人々との関わりを大切にし、コミュニケーションを豊かにとることのできる力
○自他ともに尊重し、人権や命、多様性を大切にして共に生きる姿勢
○社会の一員としての自覚と規範意識を持ち自らを律する力

豊かな心と健やかな体
○心とからだの健康づくりや体力の向上に取り組む姿勢
○思いやり、たくましさ、感動する心など豊かな人間性を発揮できる力
○文化芸術、スポーツ、読書やボランティアなどの活動に積極的に取り組む姿勢

自立して生きる力
○生きていくために必要な知識、技能、教養を備え、学び続ける姿勢
○主体的に考えて判断し他者と協働しながら課題を解決していく力
○志を高く持ち、自らの夢を描きながら粘り強く挑戦し、実行していく力

◆県民との協働による開かれた教育行政の推進　◆市町村、国、高等教育機関等の関係機関との連携・協力の推進　◆進捗管理

鳥取県教育振興基本計画の推進に向けた体制

鳥取県教育振興基本計画

～未来を拓く教育プラン～

〈 平成 31（2019）年度～2023 年度の概要 〉

HP：https://www.pref.tottori.lg.jp/shinkoukihonkeikaku/

1. 鳥取県教育振興基本計画の策定

鳥取県教育振興基本計画（以下、「計画」という。）は、中長期的に取り組むべき本県の教育課題や目指すべき姿、取組の方向性等を示すものであり、平成 21 年３月に第一期計画を策定以降、本計画に沿い鳥取県の教育を推進してきました。平成 31（2019）年度からは、第三期計画に改訂し、取組を進めていきます。

第三期計画においては、これまでの「基本理念」を継承した上で、「基本理念」を実現するための基盤として「自己肯定感」を位置づけ、子どもたちの夢や目標、学びに向かう意欲を育んでいくことに取り組んでいきます。

○計画期間（第三期計画）：平成 31 年４月から５年間（2019～2023）

【基本理念】　自立して心豊かに生きる　未来を創造する　鳥取県の人づくり

自立して生きる力
- 生きていくために必要な知識、技能、教養を備え、学び続ける姿勢
- 主体的に考えて判断し他者と協働しながら課題を解決していく力
- 志を高く持ち、自らの夢を描きながら粘り強く挑戦し、実行していく力

社会の中で支え合う力
- 人々との関わりを大切にし、コミュニケーションを豊かにとることのできる力
- 自他ともに尊重し、人権や命、多様性を大切にして共に生きる姿勢
- 社会の一員としての自覚と規範意識を持ち自らを律する力

豊かな心と健やかな体
- 心とからだの健康づくりや体力の向上に取り組む姿勢
- 思いやり、たくましさ、感動する心など豊かな人間性を発揮できる力
- 文化芸術、スポーツ、読書やボランティアなどの活動に積極的に取り組む姿勢

ふるさと鳥取県に誇りを持ち、未来を創造する力
- ふるさとの自然、歴史と伝統を守り、受け継ごうとする姿勢
- 地域やふるさとに誇りと愛着を持ち、その発展に貢献しようとする姿勢
- グローバルな視点を持ち、社会の変化に対応しながら新たな価値を創造していく力

自他の価値を尊重することができ、夢や目標、
学びに向かう意欲を持って生きる「自己肯定感」を育む

「私たちの未来　とっとりの未来を希望を持って生きる」

2．5つの目標と特に力を入れたい22の施策

基本理念の実現に向けて、今後5年間で、総合的かつ計画的に取り組むべき施策として、5つの目標と特に力を入れたい22の施策を定めて取り組みます。

目標1　社会全体で学び続ける環境づくり

施策１－（１）社会全体で取り組む教育の推進

○学校、家庭、地域の連携・協働の推進
○コミュニティ・スクールの導入促進、運営の充実
○学校、地域の連携による、ふるさとへの愛着や誇りを高める教育の充実

［主な取組］
- 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の導入・充実と地域学校協働活動の一体的な取組により、学校と地域住民等が育てたい子ども像や学校・地域の課題を共有するなど、地域とともにある学校づくりを推進します。
- ボランティア活動、地域を学ぶ体験等に、学校と地域が連携して取り組み、地域を維持し、より良いものにしていく責任は自分たち一人一人にあるという自覚を持ち、今後の社会の在り方について主体的に考え、行動する子どもたちの育成を図ります。

施策１－（２）家庭教育の充実

○保護者同士のつながりづくりの推進　○保護者への学習機会の提供、届ける家庭教育支援の推進

［主な取組］
- 保護者同士のつながりづくりを進めるとともに、保護者への多様な学習機会の提供、関係機関と連携した相談体制の整備や家庭教育支援チーム等による「届ける家庭教育支援」体制の構築など、家庭教育の支援を充実します。

施策１－（３）生涯学習の環境整備と活動支援

○全ての人が生涯学び、活躍できる機会の充実　○図書館、博物館等の社会教育施設の機能の充実
○人権尊重の心を育む教育の充実

［主な取組］
- 個人の自立や住民の学習活動を通じた地域の活性化に重要な役割を果たす図書館や博物館、公民館等の地域の社会教育施設の活用を促進します。
- 社会全体で人権教育に取り組み、学校、家庭、地域、職場等あらゆる場で県民一人一人がより良い生き方や社会の在り方について考え、自らが人権尊重の社会づくりの担い手であることの認識を深めることができるよう支援します。

目標2　学ぶ意欲を高める学校教育の推進

施策２－（４）豊かな人間性、社会性を育む教育の推進

○子どもの情操、道徳心、自他を尊重する力の育成　○読書活動の推進

［主な取組］
- 子どもたちの豊かな心の育成、規範意識の向上に向けて、道徳教育の充実を図ります。
- 「鳥取県子どもの読書活動推進ビジョン」に基づき、子どもが読書に親しむための機会の充実、環境の整備等を図り、関係機関と連携して、子どもの読書活動を推進します。

施策２－（５）ふるさと鳥取から学ぶ教育の充実

○ふるさと鳥取に根差して、グローバルな視点で考え行動することができる人材の育成
○地域を題材とした体験活動、探究的な学習の充実による社会を力強く生き抜く力の育成

［主な取組］
- 子どもたちが、地域の史跡、まちなみ、建築物、郷土芸能、伝統芸能、民工芸等、鳥取県の貴重な地域資源に触れ、ふるさと鳥取の良さを感じ、誇りに思う心や態度を、学校と地域が連携して育成します。
- 各教科や総合的な学習の時間・総合的な探究の時間等において、探究的な学習や自然体験活動、集団宿泊体験等を充実し、子どもたちの豊かな人間性や自己肯定感を育みます。

施策２－（６）幼児教育の充実

○鳥取県幼児教育センター、市町村、園の連携・協力による発達や学びの連続性を踏まえた幼児教育・保育の推進

［主な取組］
- 幼児教育の拠点機能を強化するために設置している鳥取県幼児教育センターの取組等を通じて、園の現状等の把握、園内研修支援、小学校との連携を推進していきます。

施策２－（７）確かな学力・学びに向かう力の育成

○読解力を高め、習得した知識等を活用し、主体的に課題の解決に生かしていく力の育成
○自ら学ぶ意欲を高め、自らの意志で進路を選択する力を養うキャリア教育の充実

［主な取組］
- 地域で活躍する人材、企業、団体等と連携して、職場体験、インターンシップを充実するなど、自らの生き方・在り方を考えるキャリア教育に取り組み、子どもたちが将来に夢や目標を抱き、実現に向けて取り組む意欲を高めます。
- 子どもたちに基礎的な知識・技能を確実に習得させ、社会の様々な場面で変化する状況や課題に応じて主体的に判断しながら、他者と協働し、課題を解決することができる「確かな学力」や「学びに向かう力」を育成していきます。

施策２－（８）特別支援教育の充実

○障がいの状態や発達段階に応じた教育の充実と専門性の向上
○インクルーシブ教育システムの推進に向けた基礎的環境整備及び合理的配慮の充実

［主な取組］
- 特別支援学校において、教育相談や研修など、地域の特別支援教育の拠点機能の一層の充実を図ります。また、学校内の関係者や教育、医療、保健、福祉、労働等関係機関との連絡調整、保護者との関係づくりを推進することにより、インクルーシブ教育システム（障がいのある人と障がいのない人が共に学ぶ仕組み）の構築に向けた特別支援教育の推進に努めます。
- 医療的ケア児が多様な学びの場で安全に教育を受けることができる体制整備を進めるとともに、医療的ケア実施に係る保護者の負担軽減を図ります。
- 特別支援学校におけるICTの整備を推進し、学習や生活上の困難を改善する支援機器としての活用を推進するとともに、子どもたちの学力向上や学びに対する意欲を引き出す取組を進めます。

施策２－（９）社会の変革期に対応できる教育の推進

○英語教育の充実によるグローバルマインドの育成
○人工知能（AI）等の技術革新を見据えたICT活用教育の推進
○手話教育によるコミュニケーション力の育成　○成年年齢引下げによる消費者教育の推進

［主な取組］
- 小学校、中学校、義務教育学校、高等学校を通じた英語･コミュニケーション能力の育成により、豊かな語学力･コミュニケーション能力を身につけ、多様な価値観に対応できる柔軟性を持ったグローバル人材の育成を図ります。

目標3　学校を支える教育環境の充実

施策３－（10）魅力ある学校づくり、特色ある学校運営の推進

○県立高校の在り方の抜本的な検討　○県立高校の魅力化・特色化
○地域とともにある学校づくり・魅力発信

［主な取組］
- 「今後の県立高等学校の在り方に関する基本方針」（平成28年3月策定：2019年度から2025年度までの方針）に基づき、関係者等の意見を聞きながら、その内容を具体化、明確化していくとともに、2026年度以降の県立高等学校の在り方について、分校化や学校再編、特色ある新たな学科の設置などを含め、抜本的な検討を進めます。
- 県外から本県県立高等学校に進学する生徒の受入を積極的に進め、学校の適正規模を維持するとともに、活性化を図ります。

施策３－（11）次代の学校教育を担う使命感・実践力を備えた教職員の確保・育成

○大量退職期における、魅力ある教員の確保・育成
○学校における働き方改革の推進
○学校を支える専門スタッフの充実

［主な取組］
- 教職員の心身の健康保持に努めるとともに、一人一人の子どもたちの指導に専念できる環境を整えるなど、教育の質の向上を図ることを目的として策定した「鳥取県教育委員会学校業務カイゼンプラン」に基づき、長時間勤務者の解消、時間外業務削減のための取組を進めます。

施策３－（12）安全、安心で質の高い教育環境の整備

○学校の施設整備の充実
○鳥取県中部地震を踏まえた学校の防災力強化等、安全・安心な教育環境づくりの推進

［主な取組］
- 県立学校の長寿命化改修を中心とした計画的な老朽化対策、非構造部材の耐震対策、防災機能強化、太陽光発電設備等の環境教育に資する設備の導入など、教育環境の質的向上を進めます。
- 地震や津波等の災害から子どもたちを守るために、実践的な防災教育を推進します。
- 不審者等の犯罪から子どもたちを守るために、学校、家庭、地域ぐるみの学校安全体制の整備を推進します。

施策３－（13）いじめ、不登校等に対する対応強化

○いじめ、不登校等の未然防止、早期発見・早期支援

［主な取組］
- スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置を進め、子どもを取り巻く環境への働きかけ等を通して、いじめ、暴力行為、不登校、中途退学などの生徒指導上の諸課題の未然防止、早期対応に向けた取組を強化します。

施策３－（14）多様なニーズに応える学びのセーフティネットの構築

○貧困・格差等の社会課題への対応、不登校生徒等に対する多様な学びの場の確保

［主な取組］
- 「地域未来塾」等の地域学校協働活動を行う市町村を支援し、家庭での学習が困難であったり、学習習慣が十分に身についていない子どもたちに対し、子ども食堂と連携するなどの支援を充実します。
- 高校生の不登校（傾向）やひきこもりが心配される生徒・青少年の学校復帰や社会参加に向けた支援を推進するため、関係機関と連携して、支援を必要としている方の潜在的ニーズの把握に努めるとともに、県内3カ所に設置している鳥取県教育支援センター（ハートフルスペース）の周知を行い、相談体制や訪問型（アウトリーチ型）支援を充実します。
- ICT 等を活用するなど、不登校児童生徒に対する学習支援を充実することにより、不登校児童生徒の学校復帰や社会的自立を支援します。

施策３－（15）私立学校への支援の充実

○私立学校の多様な取組への支援

［主な取組］
- 私立学校の特色ある取組を応援するため、優秀な教職員の人材確保や教育環境の維持向上に必要な経費を助成するとともに、就学支援金や授業料減免などによる保護者、生徒の経済的負担軽減を図り、県民に多様で良質な教育の選択肢を提供することを通じて、多彩で優れた人材を養成します。

目標4　生涯にわたる健やかな体づくりと運動、スポーツの推進

施策４－（16）健やかな心と体づくりの推進

○子どもの体力・運動能力の向上、健康教育及び食育の推進

［主な取組］
- 各学校での体力向上推進計画書の策定及び体力・運動能力調査を活用したPDCAサイクルによる取組を支援し、各学校の実状に応じた子どもたちの体力・運動能力の向上を推進します。
- 子どもたちが健康と命の大切さについて学ぶため、がん教育や性に関する指導等の健康教育の充実を図ります。